

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第1区分
 【発行日】平成31年4月25日(2019.4.25)

【国際公開番号】W02016/159203
 【年通号数】公開・登録公報2018-004
 【出願番号】特願2017-510166(P2017-510166)
 【国際特許分類】

G 0 1 N 33/531 (2006.01)

G 0 1 N 33/53 (2006.01)

C 0 7 K 14/795 (2006.01)

C 0 7 K 16/18 (2006.01)

【F I】

G 0 1 N 33/531 B

G 0 1 N 33/53 D

C 0 7 K 14/795

C 0 7 K 16/18

【手続補正書】

【提出日】平成31年3月14日(2019.3.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ジスルホン酸又はその塩を含むヘムタンパク質の保存液。

【請求項2】

前記ジスルホン酸又はその塩が、鎖式の炭化水素基又は環式の炭化水素基の少なくとも1つを有するジスルホン酸又はその塩であって、

前記鎖式の炭化水素基が分岐状もしくは直鎖状の炭化水素基であり、かつ分岐状の前記鎖式の炭化水素基の主鎖もしくは直鎖状の前記鎖式の炭化水素基の炭素数が1乃至10のいずれかであるジスルホン酸又はその塩、

前記環式の炭化水素基がシクロアルキレン基もしくはアリール基であり、かつ前記環式の炭化水素基の炭素数が3乃至10のいずれかであるジスルホン酸又はその塩、並びに、

前記シクロアルキレン基もしくは前記アリール基が1個以上の置換された窒素原子を有するジスルホン酸又はその塩からなる群より選択される少なくとも1種である請求項1に記載のヘムタンパク質の保存液。

【請求項3】

前記ジスルホン酸が、鎖式又は環式の炭化水素基と、2つのスルホン基のみとからなる請求項1又は2に記載のヘムタンパク質の保存液。

【請求項4】

前記ジスルホン酸又はその塩が、メタンジスルホン酸、エタンジスルホン酸、プロパンジスルホン酸、ブタンジスルホン酸、ナフタレンジスルホン酸又はその塩からなる群より選択される少なくとも1種である請求項1乃至3のいずれか1項に記載のヘムタンパク質の保存液。

【請求項5】

ジスルホン酸又はその塩をヘムタンパク質の安定化成分として含むヘムタンパク質の保存液。

【請求項 6】

前記ジスルホン酸又はその塩が、メタンジスルホン酸、エタンジスルホン酸、プロパンジスルホン酸、ブタンジスルホン酸、ナフタレンジスルホン酸、ピペラジン - N , N ' - ビス (2 - エタンスルホン酸) 又はその塩からなる群より選択される少なくとも 1 種である請求項 5 に記載のヘムタンパク質の保存液。

【請求項 7】

前記ジスルホン酸又はその塩の濃度が 0.001 mol/L 以上 0.3 mol/L 以下である請求項 1 乃至 6 のいずれか 1 項に記載のヘムタンパク質の保存液。

【請求項 8】

N - (2 - ヒドロキシエチル) ピペラジン - N ' - エタンスルホン酸をさらに含む請求項 1 乃至 7 のいずれか 1 項に記載のヘムタンパク質の保存液。

【請求項 9】

標準試料又はコントロール試料として用いられる、ヘムタンパク質をさらに含む請求項 1 乃至 8 のいずれか 1 項に記載のヘムタンパク質の保存液。

【請求項 10】

免疫学的測定に用いられる請求項 1 乃至 9 のいずれか 1 項に記載のヘムタンパク質の保存液。

【請求項 11】

ヘムタンパク質がヘモグロビン、ミオグロビン、ペルオキシダーゼ、及びカタラーゼからなる群より選択される少なくとも一種である請求項 1 乃至 10 のいずれか 1 項に記載のヘムタンパク質の保存液。

【請求項 12】

ヘムタンパク質を含む試料中に、ジスルホン酸又はその塩を共存させるヘムタンパク質の安定化方法。

【請求項 13】

前記ジスルホン酸又はその塩の濃度が 0.001 mol/L 以上 0.3 mol/L 以下である請求項 12 に記載のヘムタンパク質の安定化方法。

【請求項 14】

ヘムタンパク質と抗ヘムタンパク質抗体とをジスルホン酸又はその塩の存在下で接触させる工程を含む、ヘムタンパク質の免疫学的測定方法。

专利名称(译)	<无法获取翻译>		
公开(公告)号	JPWO2016159203A5	公开(公告)日	2019-04-25
申请号	JP2017510166	申请日	2016-03-31
[标]申请(专利权)人(译)	荣研化学株式会社		
申请(专利权)人(译)	荣研化学株式会社		
[标]发明人	坂田梢 諏合伸 安居良太		
发明人	坂田 梢 諏合 伸 安居 良太		
IPC分类号	G01N33/531 G01N33/53 C07K14/795 C07K16/18		
CPC分类号	C07K14/805 G01N1/28 G01N33/531		
FI分类号	G01N33/531.B G01N33/53.D C07K14/795 C07K16/18		
F-TERM分类号	4H045/AA30 4H045/BA10 4H045/CA40 4H045/EA50 4H045/EA60		
优先权	2015070667 2015-03-31 JP		
其他公开文献	JPWO2016159203A1		

摘要(译)

本发明的目的是提供一种新的针对血红素蛋白的防腐剂溶液，其对血红素蛋白的变性或降解有效，以及稳定血红素蛋白的方法，具体地讲，其包含二磺酸或其盐。本发明涉及血红素蛋白的储存溶液和稳定血红素蛋白的方法，其中使二磺酸或其盐共存于含有血红素蛋白的样品中。